

平成31年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-公演団体一覧

【C区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
I-J	演劇	児童劇	劇団風の子九州	○	○	○	-	「あっかんべー！」は勇気の言葉	やだ、やだ あっかんべー！ 作・演出 / あさのゆみこ	

【A区分・B区分団体】

J	音楽	合唱	公益社団法人 関西二期会	○	○	○	○	関西二期会合唱公演	【日本の歌メドレー】小学校…童謡メドレーいつの日か 中学校…唱歌メドレーふるさとの四季 【合唱曲】小学校…飛行船／勇気100% 中学校…タイムトラベル／ジュビター 【楽しい二重唱】猫の二重唱 【オペラの名曲】乾杯の歌(椿姫)／ハバネラ／闘牛士の歌(カルメン)／乾杯(こもり)	
J	音楽	オーケストラ等	テレマン室内オーケストラ	○	○	○	○	テレマンって誰？リコーダーのための協奏曲！？～実は身近な芸術「ハロック音楽」～	J.S.バッハ:シンフォニア ニ長調 BWV1045 J.S.バッハ:G線上のアリア 【リコーダー再発見】J.v.エイク:イギリスのナイチンゲール J.クリューガー:メヌエット(小学校)F.クーブラン:恋するうぐいす(中学校) 他	
J	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 九州交響楽団	○	○	○	○	体感オーケストラ！～拍子とリズムをマスターしよう～	【小学生向けプログラム】ビゼー／歌劇「カルメン」より 前奏曲 マスカーニ／歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より 間奏曲 【中学生向けプログラム】ヨハン・シュトラウスⅡ世／ワルツ「春の声」 ブラームス／「ハンガリー舞曲 第5番」 他	
J	演劇	児童劇	劇団うりんこ	○	○	○	○	学校ウサギをつかまえる 原作: 岡田淳 脚本/演出: 田辺剛		
J	演劇	演劇	秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場	-	-	○	○	「あの夏の絵」	「あの夏の絵」	H30 (継続)
J	演劇	ミュージカル	有限会社 劇団ドリームカンパニー	○	○	○	○	ミュージカルの贈り物 ～夢みる力・生きる力～	ミュージカル『ハロー、天使です！』 原作:徳満 亮一 脚本:徳満 亮一 演出:徳満 亮一	
J	舞踊	バレエ	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団	○	○	○	○	貞松・浜田バレエ団 『子供のためのバレエ鑑賞会』	バレエ小品集(仲良し、イワン兄弟、スパニッシュ等)/チャイコフスキー曲 * 小学校用《プログラム》動物のカニバル/サン・サーンス曲他 * 中学校用《プログラム》セイラーズ・セイリング/ハノバース他	
J	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 山本能楽堂	○	○	○	○	【伝統芸能と遊ぼう！ 狂言「柿山伏」と能「羽衣」】	能「羽衣」 / 作者不明 素材「丹後風土記」などの羽衣伝説 狂言「柿山伏」	
J	伝統芸能	邦楽	太鼓と芝居のたまっ子座	○	○	○	○	言葉をこえ 全身で味わう和太鼓の楽しさ！ 日本の心のふるさと！	和太鼓ライブ「いちにのどん」 太鼓曲:「虫追い豊年太鼓」「月夜のカエル」 他	
J	伝統芸能	演芸	話芸の三きょうたい ～落語・講談・浪曲の世界～	○	○	○	○	話芸の三きょうたい ～落語・講談・浪曲の世界～	落語 / 「道具屋」または「動物園」 講談 / 「大名茶会」または「山内一豊」 浪曲 / 「稲むらの火」または「吉岡先生教壇に生く」	

※複数年度実施欄に「H29」の記載がある団体は平成29年度から、「H30」の記載がある団体は平成30年度から、「H31」の記載がある団体は平成31年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomogetiutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている当初公演の情報を閲覧することができます。

平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目(いずれかに をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱,オーケストラ等,音楽劇
【演 劇】	(児童劇),演劇,ミュージカル
【舞 踊】	バレエ,現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽,人形浄瑠璃,邦楽,邦舞,演芸

申請する区分に, を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ (C区分)

複数申請の有無(該当する方に を付してください。)

(あり) ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても,複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ,複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	きぎょうくみあいげきだんかぜのこきゅうしゅう 企業組合劇団風の子九州		
代表者職・氏名	代表理事 仮屋 祐一		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒814-0002 福岡県福岡市早良区西新5丁目5-13 (最寄り駅・・・福岡市営地下鉄空港線 西新駅)		
電話番号	092-841-7889	F A X 番号	092-841-7896
ふりがな 公演団体名	げきだんかぜのこきゅうしゅう 劇団風の子九州		
代表者職・氏名	代表 仮屋 祐一		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒814-0002 福岡県福岡市早良区西新5丁目5-13 (最寄り駅・・・福岡市営地下鉄空港線 西新駅)		
制作団体 設立年月	1985年4月		
制作団体 組織	役 職 員 代表理事 仮屋祐一 理事 浅野由美子 理事 川島二郎 理事 中島 司 監事 矢野ひとみ	団体構成員及び加入条件等 【創造部・・・15名】 浅野由美子、川島二郎、中島 司、小池勇治、玉木聡美、 岩永宏子、井上真利、小山 隼、中山由美、山口咲希、 高山洋輝、浦 美佳、寺崎花絵、竹下裕真、稲永清音 【企画経営部・・・6名】 仮屋祐一、鈴木恵美、矢野ひとみ、上村 洋、田川智士、 村垣洋子 加入条件等・・・18歳以上の健康な人 (面接・オーディションあり)	
事務体制の担当	(専任) ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	仮屋 祐一
経理処理等の 監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	鈴木恵美

制作団体沿革	<p>企業組合劇団風の子九州は、1985 年東京の劇団風の子から運営独立し「劇団風の子九州班」として福岡市に創立され、その後 1993 年に法人独立し現在に至る。 児童・青少年演劇の制作と上演・普及活動を行っている。</p>		
学校等における公演実績	<p>【2017 年度公演実績】 小学校公演：6 作品 181 日 238 ステージ 幼稚園・保育園公演：7 作品 109 日 121 ステージ 子ども劇場公演：9 作品 116 日 134 ステージ その他(行政、学童保育、児童館、自主公演等)：9 作品 79 日 86 ステージ 計 579 ステージ</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>【福岡県】福岡中央特別支援学校、南福岡特別支援学校、福岡県立特別支援学校北九州高等学園、嘉穂特別支援学校 【長崎県】鶴南特別支援学校、大村特別支援学校 【宮崎県】みなみのかげ支援学校、赤江まつばら支援学校、清武せいりゅう特別支援学校、くろしお支援学校、児湯るびなす支援学校、みやざき中央支援学校 【長崎県】川棚特別支援学校、希望ヶ丘高校特別支援学校、諫早東特別支援学校 【沖縄県】島尻特別支援学校、宮古特別支援学校 ほか公演実績多数 【福島県】大笹生支援学校</p> <p>ほか公演実績多数</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有・無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有・無
		公開資料有の場合 URL	DVDを提出します。 また、下記の URL からニュースに取り上げられた映像の視聴が可能です。 https://youtu.be/PBCbKqUaYfM
		閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: なし PW: なし
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有・無
		公開資料有の場合 URL	
閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団風の子九州】

対象	小学生(<u>低学年</u> ・ <u>中学年</u> ・ <u>高学年</u>) ・ 中学生		
企画名	「あっかんべー！」は勇気の言葉		
本公演演目	やだ、やだ あっかんべー！		
原作 / 作曲	作・演出 / あさのゆみこ 音楽・効果 / 曲尾友克		
脚本	美術 / あさのゆみこ		
演出 / 振付	公演時間(75 分)		
著作権	- 制作団体が所有	○ 制作団体以外が所有する事項が含まれる	有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>【あらすじ】</p> <p>山あいに住む一人暮らしのおばあちゃんの家に移ってきた内気な小学 4 年生の智(とも)。しかし智は本当は引越してきたくありませんでした。すごい田舎だし、お化けみたいなおばあちゃんがいるし…。ある日、智がおばあちゃんの家を探検しているとどこからか声が聞こえてきました。おばあちゃんの独り言かなと思っていたら…!?泥棒?おばけ?実はおばあちゃんの家には妖怪あまのじゃくのジャクが同居していました。智と友達になったジャクですが、最近なんだか弱ってきました。その原因は裏山の開発とそこに住まう妖怪土蜘蛛が関係していました。智はジャクを救うために裏山へ走り出しました。はてさて、智はジャクを無事救うことができるのか?</p> <p>【作品への思い】</p> <p>かつて子供たちは群れて遊びを生み出し、人と人との関係も遊びの中で学び、ごく自然に身につけていったように思います。それは正に生きていく力を蓄える大切な時間。しかし今、その大切な時間を持ちにくい社会へとますます拍車が掛けられて来ているように感じます。そしてその影響は自己肯定感の低い、心の不安定な子供たちを生み出しています。そんな都会の生活を送ってきた「やだやだ」が口癖、何をやってもダメと思っているこの物語の主人公・智ですが、物凄い田舎に引越してきて、おばあちゃんや妖怪たちとの出会い、自然の中の生活体験を通して強い心が育まれ、友だちジャクの角を取り戻すために恐ろしい土蜘蛛のところへ走り出します。私たちはこの作品を通して子供達に、子供時代を子供らしくたくましく、困難にも真正面から立ち向かっていく勇気、生きていく希望を感じてもらいたいと考えます。</p> <p>【キーワードのせりふ】</p> <p>おばあちゃん / よかよか。智は「智の時間」を歩いとると。人と比べてもつまらん。智がゆっくり歩きたいならそれでよか。ばあちゃんだって、ばあちゃんの時間を歩きよる。誰にも邪魔させんよ。</p> <p>(行き過ぎた競争社会にあおられて自分を見失いがちになる子供達へのメッセージです。)</p> <p>おばあちゃん / ばあちゃんは「あっかんべー」ってすると心がスーッと元気になると。ほれ、智もやってみらんね。</p> <p>(自己肯定感の無さから、嫌なことも嫌といえず自分の気持ちを友だちに対して、表現しづらい現代の子供達に送るかわいらしい魔法の言葉「あっかんべー」。終演後はいつとき学校ではやるそうです。)</p> <p>* 社会保障審議会推薦児童福祉文化財(舞台芸術)</p>		

<p>演目選択理由</p>	<p>* 最近、教育現場の先生方から不登校や保健室登校の低学年化が進んでいると聞きました。思春期に入る前から自己肯定感が少なく、友だちとコミュニケーションをとりづらい子供たちが増えてきているとの事。主人公の智も同じで何事にも「やだやだ」が口癖ですが、物語が進行するにつけ友達のために勇気ある行動を取り始めます。智のようなおとなしい子供たちにはちょっとした勇気を、強い子供たちにはおとなしい友だちへの共感を学んでもらい、コミュニケーション能力の育成を図りたいと考えます。</p> <p>* この事業の目的の一つ「発想力の育成」は体験や模倣から鍛えられます。子供達の感想文に「4人で劇をしていたけど10人くらい人がいるように思いました。」とか、「あんな劇とか歌を4人でするのがびっくりしました。」とあります。この演目は、様々な役が登場しますが、4人の俳優だけで楽しいキャラクターをスピーディーに演じ分けるために様々な仕掛けが用意されています。また、大道具はセンターの二畳の平台と自在に変化する4本の柱だけで、ある時は森の中、ある時はおばあちゃんの家にと様々な場面に瞬時に変化し、子供達の想像力を刺激します。このような驚きや刺激が発想力の向上の素となり、舞台芸術への興味と、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につながると考えます。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>* 可能であれば、二場面に出演してもらいます。(学年は主人公と同じ4年生がベスト)</p> <p><u>場面</u> おばあちゃんの家に移ってきた智がよく一人で遊びに行く森の中。三人の俳優たちが、森の中の様子をマイムで表現しますが、その中の表現(蝶、枯葉、水溜り、コスモス、トンボ)と一緒に演じてもらいます。(上限6名)</p> <p><u>場面</u> エンディング。俳優たちと一緒にテーマソングを歌い、踊ってもらいます。(人数は一クラスほど)</p>		
<p>出演者</p>	<p>川島二郎、岩永宏子、高山洋輝、浦美佳</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 4名 スタッフ: 0名 合計: 4名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>マイクロバス 車長7m 台数 1台</p>

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書 をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(2 時間 30 分程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:30～11:00	13:30～14:45	なし	15:30～17:00	17:00
	<p>*4 時限目に出演する子どもたちとのリハーサルが入ります。</p> <p>* 午前公演の場合、前日3時間程度の仕込、2時限目リハーサル、3,4 時限日本番、15:00 搬出完了 本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p>					
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	4年生全員				
	本公演	場面 6名まで	場面	4年生全員		
ワークショップ実施形態及び内容	<p>* 出演場面の練習が主になるので、主人公と同学年の4年生に参加してもらいます。</p> <p><u>ワークショップの流れ</u></p> <p>劇団の自己紹介をします。</p> <p>リラックスするために最初にちょっとした表現ワークをします。</p> <p>お芝居のあらすじを紙芝居仕立てで話します。</p> <p>二グループに分かれます。可能であれば別々の場所での練習。</p> <p><u>場面 チーム</u></p> <p>選抜の6名ほどと劇中に登場する花や虫等の身体表現の練習をします。</p> <p><u>場面 チーム</u></p> <p>エンディングの歌とダンスの練習をします。</p> <p>(ちなみに、場面 チームはこの日は歌とダンスの練習は出来ませんが、後日学校で練習して公演当日、出演することは可能です。)</p> <p>最後に、お互いのチーム毎に、この日の練習の成果を見せ合います。</p>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>子供たちは思春期の入り口にさしかかる頃、自我の目覚めと共に他者からの目を意識し始めます。そのことにより人前に立つ、または人前でしゃべる、ましてや人前で演じるということに相当なプレッシャーを感じる子どももいます。そこで、演劇とは「ごっこ遊び」や「まねっこあそび」の延長であり、今回の舞台表現は「遊びとして楽しんで、思いっきり演じてほしい。」と伝えるためのワークを心がけます。</p> <p>劇団との初めての出会いなので、お互い緊張感を取り除くために、体育館いっぱい動き回れる表現ワークを行います。</p> <p>演目の全体像が想像出来るように、あらすじを説明して、子どもたちが登場するシーンがどのような意味合いがあるのかをイメージしてもらいます。</p> <p><u>場面 チーム</u></p> <p>セリフがない身体表現です。一人ずつ表現するのではなく、友達同士合体して表現するので、恥ずかしさも少なく、友だちと協力して表現する楽しさが育成できます。</p> <p><u>場面 チーム</u></p> <p>歌とダンスを楽しく表現できるような指導を心がけます。体育館フロアに実際の舞台の寸法を記し、客席からの登場方法、実際の踊る位置、退場の仕方なども</p>					

	<p>練習して、子供達の不安を取り除く努力をします。</p> <p>最後にお互いのチームで見合うことにより、相手チームの頑張りや、日常とは違う友達の表現に刺激を得て、自分や自分たちのチームを省みることになり、本番当日までの練習にやる気を持って向かうことが出来るようになります。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>二回の体験場面は原則として実施できるように工夫しますが、各校、各子どもたちにより被支援の状況が異なるので先生方と綿密な打ち合わせを行い、表現方法の可能性を探っていきます。例としては、全員で鳴り物を持ってリズムをとりながら歌い、先生方が車椅子に一人ずつ付いての車椅子ダンスを披露したこともあります。</p>
<p>実施可能時期はB区分申請団体のみ</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

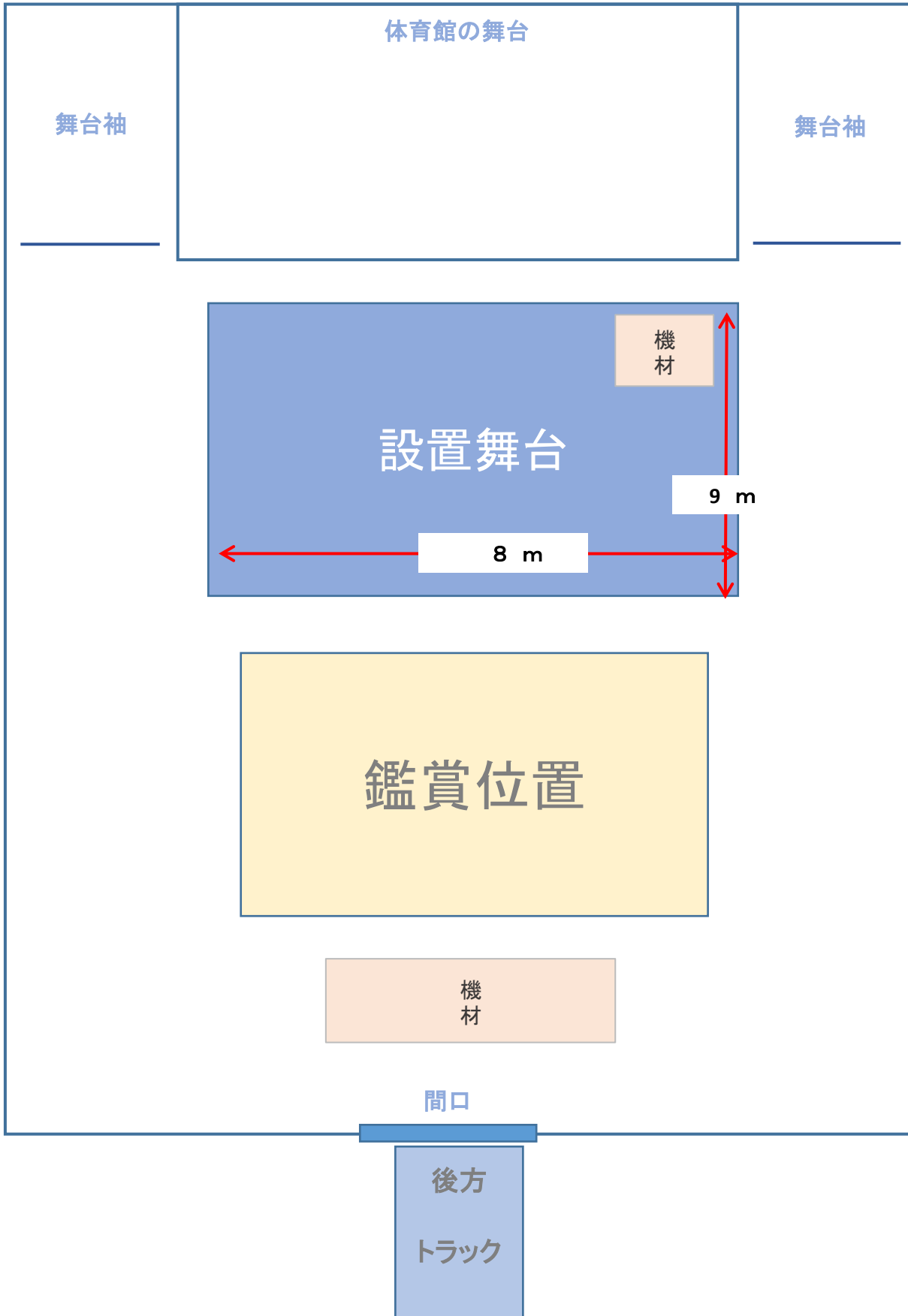
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K121	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	I・J	区分	C区分
公演団体名	劇団風の子九州				制作団体名	企業組合劇団風の子九州			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	不要	条件	体育館ステージが控室として使用できない場合は1室必要です。					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			中型バス 1台					
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			マイクロバス(長さ6.99、幅2.03、高さ2.58)m					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	可	搬入経路の最低条件			・雨の場合、道具が濡れない経路が望ましい。					
		理由			音響器材、照明機材、大道具等がある為。					
	可	設置階の制限 *			問わないが、1階が望ましい。					
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m			
WSについて	可	参加可能人数			40名程度まで					
	可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	小学校4年生			
	可	所要時間の目安 単位:分			85分程度(途中休憩あり)					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			200名程度まで					
	不可	舞台設置場所 *			フロアに設置					
		舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8m	奥行	9m	高さ	3m	
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			舞台は控室として使用。使用不可の場合、控室1部屋必要。		
	—				舞台袖スペースの条件 *			無		
	—				緞帳 *	下がらない場合、控室として1部屋必要です		バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	完全遮光でなくても公演可能。一部でも構いません。要相談。			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		問わない				
	可	公演に必要な電源容量			60A		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

感想文

すごく、かんどうしました。はじまったときに、おどりがおもしろかったです。ともおねえちゃんとじゃくが、すごかったです。
(1年生・男子)

心にのこったところは、うたがこころのこりました。
(2年生・男子)

さい初は、どんなげきがあるのかワクワクしていました。すごく面白いげきでした。おばあちゃんと、じゃくが一番面白かったです。土ぐもは、最初コワイイメージだったけど、本当はやさしいんだなあと思いました。終わった時、また見たいなあと思いました。
(3年生・男子)

ほくが、一番心に残った場面は、ともちゃんが、じゃくの角を命がけて取ってきて、じゃくを助けるところです。なので僕もこまっている人がいたら、ともちゃんみたいに助けてあげたいです。
(4年生・男子)

私は「あっかんべーをすると負けない気持ちになるんだよ」というおばあさんのセリフを聞いて、「これだ!」と思いました。くやしいけどあきらめようという時はたくさんあります。そんな時でもあっかんべーをして負けないぞという気持ちになろうと思いました。来年も来てください。
(5年生・女子)

女の子は、学校にあまり行ってなかったけど、鬼の角を友達と一緒に取り戻して、最後は、学校にいつてもよくなるといったのが、心に残りました。
(6年生・女子)

一人の人が色々な役をこなし、台詞覚えも大変なことだろうと思いました。子ども達への劇ですが、人に対する思いやり、優しさもメッセージとして込められていたし、人の生き方までも示されていたなあと思いました。また、人と自然との共存ということもテーマだったのではないかなあと思いました。今日は、何かわかりませんが、最後のほうでは感動してしまい、自然に涙が出てしまいました。一年生の子ども達もすごく楽しんでいました。
(先生・女性)



劇団紹介

- 日本児童・青少年演劇団協同組合加盟
- 全国児童・青少年演劇協議会加盟
- アシテジ(国際児童青少年演劇協会)加盟

劇団風の子九州は、1985年劇団風の子より独立して誕生した、九州の福岡に本拠を置く児童青少年演劇の専門職業劇団です。

“子どものいるところ、どこへでもとんでいく”を合言葉に、九州・沖縄各地の街中や山間部の集落、点在する離島を駆け回ってきました。

'90年からは国内だけでなく、韓国、中国、インドネシア、パキスタン、インド、オーストラリア、シンガポールなど、アジアを中心に海外公演にも出かけ、多くの人達との交流を深めてきています。

2002年からは、韓国の劇団サダリとの合同公演作品「マンナム」を創り上演してきました。アシテジ(国際児童青少年演劇協会)の国際フェスティバル in ソウルでは日本代表としても参加しました。

これからも地域で、“子どもたちと共に未来を創る劇団”として、従来の演劇様式にこだわらず、遊びや日常生活の中から、新しい創造と表現の世界を追求し広げていきたいと思っています。



やだ、やだ あっかんべー!



私は「私の時間」を歩く。

劇団風の子九州

〒814-0002 福岡市早良区西新5-5-13
TEL092-841-7889 FAX092-841-7896
ホームページ: <http://www.kazenoko-kyushu.or.jp>
E-mail: info@kazenoko-kyushu.or.jp

劇団風の子九州

作・演出/あさの ゆみこ 音楽・効果/曲尾 友克 美術/あさの ゆみこ 制作/矢野 ひとみ

やだ、やだ あっかんべー!

あつすけ



山あいに住む一人暮らしのおばあちゃんの家に、引っ越してきた小学校4年生の女の子智。でも智は引っ越して来たくありませんでした。すごい田舎だし、お化けみたいなおばあちゃんはいやし…。すこし内気な智は、おばあちゃんとも転校したばかりの小学校にもなじめず、学校に行かなくなってしまいました。ある日、おばあちゃんの家を探検していると、声が聞こえます。「おばあちゃん、年だから独り言がおおいのかな?」と、思っていたら、独り言じゃなかったのです。泥棒? お化け?

不思議なおばあちゃんと謎の同居人。そして裏山にはまだまだ、なにが潜んでいるようです。それは、妖怪…。ひよんな事から、その妖怪を救うことに!?

はてさて、内気な智は妖怪を救うことができるのか? さあ、冒険のはじまりはじまり!



演出の思い

最近、「自己肯定感」という言葉をよく耳にします。「自分はかけがえない存在」と思える気持ちのことだそうです。今、この『自己肯定感』が低くなってきていると言われています。私は中高生と出会う機会がありますが、一人一人の『自己肯定感』の高い、低いがわかるわけではありません。でも、この頃、不安定な子どもたちが多くなってきているように感じます。心の中が満たされていないような、ポッカリ穴が開いているような。そして、誰かに自分を認めてほしいと思っている。この物語の主人公もそうです。なにをやってもダメと思っている智は、体験をすることで強くなっていきます。私たち大人や社会が、子どもたちの体験を奪わないようにしたいものです。そして、体験を通し、ありのままの自分を受け入れ、「私の時間」を歩いてほしいと思っています。

あさのゆみこ

制作にあたって 困難にも真正面から立ち向かっていく勇気を!!

異年齢で、毎日のように外遊びする子どもたちの姿が見られなくなってきたと言われ始めておよそ四半世紀以上は経つでしょうか。

競争社会の波にのまれ、ますます塾や習い事に忙しく、合間の時間を利用し、ゲーム機に没頭する子どもたち…

かつて群れて遊びを生み出し、人と人との関係作りも遊びの中で学び、自然と身に付けていったように思います。それは、まさに生きていく力を蓄える大切な時間。その大切な時間が、ますますできにくい社会へと、より拍車がかけて来られているように思います。

子ども時代を子どもらしく、たくましく、困難にも真正面から立ち向かっていく勇気、生きていく希望を、この作品を通して感じてもらえたらと思います。



矢野ひとみ



内気な女の子、智ちゃん。転校してきた学校には、なかなかなじめません。行きたくない…。



ある日おばあちゃんの部屋をのぞいてみると…どこからともなく声が…誰?どるぼう??



おばあちゃん家の裏山にひそむ妖怪きつねのゴン姉さんとサトリ



裏山にひそむ妖怪土蜘蛛。2人の運命は…?



キヤ〜気持ち悪い〜何笑ってるの〜?



何やら見つけたゴン姉さん。いったい何をするつもり…



そう〜つとそう〜つと 気をつけて!!

この作品に登場する妖怪たち

- サトリ**

獣のような姿の妖怪。詭心術のように入人の心を見抜いて話しかけてくる。
- あまのじゃく**

悪鬼神・小鬼・物まねがうまく他人の心を探るのにたけている。
- 狐**

人間に化けたり、人に乗り移って病氣をもたらしたりする。水鏡や木の葉や馬の首などを頭に載せて化ける。
- 人面樹**

山中にあつてその花が人の頭に似ており、くまに笑うか、笑って落下してしまふ。
- カッパ**

川や池などの水界に住む。妖怪の童子の姿としておかつは頭に皿のようなものがあって、そこにいっしょに水をたたえている。